

通常総会報告

新役員が決まりました

5月28日（土）富士電機能力開発センターにて69名という多くの方々が参加され通常総会が開催されました。

第一号議案 振り返りと決算報告

第二号議案 方針と予算

いずれも賛成多数で可決されました。

第三号議案 規約の改正

一部変更提案があり議論を深め一部変更して可決されました。

(ホームページ参照)

第四号議案 役員改選

長い間リードしてこられました、前河西代表及び前龍事務局長が退任され新役員が決まりました。

今回の総会の特徴は、各プロジェクト（三宅島及び気仙沼復興支援、ラオス活動）の報告に加え、専門班の一部のリーダー（ものづくり班）が活動報告を行いました。いままでになかった報告で新鮮に感じたのは私だけではなかったようです。今後も様々な形で汗を流している会員の報告を続けていきたいと考えています。

【新体制】

【幹事】

- | | | | |
|---------|-------|--------|-------|
| 1. 代表 | 吉川 正幸 | 8. 幹事 | 小山 圭司 |
| 2. 副代表 | 馬場 隆博 | 9. 幹事 | 川久保芳男 |
| 3. 副代表 | 小木曾裕子 | 10. 幹事 | 高橋 賢次 |
| 4. 副代表 | 湯川 敏雄 | 11. 幹事 | 仁藤 正夫 |
| 5. 事務局長 | 松川 征夫 | 12. 幹事 | 日比野克彦 |
| 6. 幹事 | 大森 茂 | 13. 幹事 | 松隈 茂 |
| 7. 幹事 | 小口 治 | | |

【監査役】

- | | | | |
|--------|-------|--------|-------|
| 1. 監査役 | 石井 倫行 | 2. 監査役 | 今藤 洋海 |
| 3. 監査役 | 白井 聡一 | | |

【新代表 吉川 正幸さんからのメッセージです。】

次の世代に引き継ぐことが私達の責務

平成 28 年 5 月 28 日に開催された、高尾の森づくりの会の総会において、私は新制度の幹事に選任され、続いて行われた初の幹事会において、厳しい査問と激励の言葉をいただいたあと、全幹事に認めていただき新代表に選任されました。また、副代表には、馬場隆博さん、小木曾裕子さん、湯川敏雄さんが、また、事務局長には松川征夫さんが、選任され、新しい執行部がスタートしました。

高尾の森づくりの会は、河西代表と龍事務局長の強力なリーダーシップによって率いられ発展してきたことは、皆さまご存じのとおりです。このお二人には、創立からの功労をたたえて幹事全員一致で顧問に推挙させていただきました。当会は大きな規模になっただけに、これからは幹事全員で知恵を絞って決定を行い、決まったことを執行部と幹事、会員が手分けして実行に移す組織の会にしたいと思います。

私は、4 年前に高尾の森づくりの会の会員となったのですが、その直後に公益社団法人日本山岳会の役員となったので雑用に忙殺され、おまけに花粉症になってしまい、高尾には行けない状態が続いていました。しかし、会のイベントには何回も参加させてもらい、その都度、会員の皆様のご苦勞と楽しい話を聞かせていただき、また、皆さまの酒量には驚かされておりました。先週も、三宅島では、作業のお役には立ちませんでした。十分に楽しませていただいたばかりです。現在、私は日本山岳会の副会長の職にありますが、この会の代表となったことは、日本山岳会の私の立場とは関係ありません。より一層、皆さまの仲間に加えていただきたく個人の考えで幹事の一人となったつもりでおります。

馬場さんの美林見学会に何回か参加させていただいて、美しい木の森は、次の世代のために作られていることを知りました。美林は、植林した人はおろか、子の代でも完成を見ることができないものです。各地の美林を見ながら江戸時代から、こうした子孫のための努力が続いていたことに驚かされました。このような日本の美風を、高尾の森づくりの会で引き継いでゆきたいと考えます。さらには、高尾の森づくりの会を、次の世代に引き継ぐことが私達の責務であると思います。

お山の作業はまず安全第一です。安全のためには規律は必要です。さらに組織としての運営のために新規約も決まりました。しかし、人の作った規則に捉われるよりも、志を高く持つことによって、現実柔軟に対応することも必要です。規律や規約を尊重しながらも、明るく愉快的な会になるよう、副代表、事務局長とともに汗をかいてゆこうと考えています。

以上



吉川代表

三宅島にて (2016.05)